

平成 22 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 亀望会

はじめに

厳しい運営を強いられるなか、質の高いサービスを提供するため、職員の人財育成に力を入れ、「自ら考え、行動できる人財を育てよう」を研修方針として掲げ、計画的に取り組むことができました。このことは介護職員の離職率を下げた要因のひとつとなっています。併せて、昨年度に引き続き、介護職員処遇改善交付金の支給を行い、賃金をあげました。

また、経営コンサルタントと協働し、積極的に管理職を含む中間管理職の教育を行い、しっかりした組織基盤をつくり、全職員が運営理念を共有し、日々のサービス提供に反映するよう努めました。

人財不足が続く背景のなか、定期的に人財確保委員会を開催し、検討することで、平成23年度4月には予定人数の新入職員の確保ができました。

業務改善の「アクションプラン」については、各部署一丸となって取り組み、競い合うことで職員一人ひとりのモチベーションアップにつながり、昨年度よりも充実した内容となりました。

新規事業の開設については、地域ニーズである認知症対応の事業展開をするため、新規事業開設準備室を立ち上げ、かなり具体的に検討しましたが、今年度の実施には至りませんでした。

また、地域貢献委員会を立ち上げ、地域ニーズを把握することにより、法人ができることを提案し、平成23年度につなげました。

今まで以上に地域の方々に積極的に関わることで、信頼関係が深まり、地域における福祉サービスの中心的な担い手として、役割が果たせるよう努めました。

1. 特別養護老人ホーム事業

平成22年度は「個別ケアの充実」を目標として、入所者一人ひとりがその人らしく生活を送っていただけるようきめ細かく配慮し、満足度の高いサービスが提供できるよう取り組みました。また、管理医師を中心にすべての職種の連携により、その人らしい最期を迎えることができるよう努め、10名の入所者を施設で看取らせていただくことができました。

平成22年度退所者22名（内死亡19名、長期入院 3名）

（1）生活支援

生活相談

他の職種との連携による情報共有をすすめることにより、体調不良や転倒事故などが起こった場合はもちろんのこと、入所者本人及び家族からの相談に対して迅速に対応し、安心して生活していただけるよう努めました。

施設サービス計画

入所者本人の持っている力をできる限り発揮してもらうことにより、個性を尊重したその人らしい生活を送っていただけるように、研修への積極的な参加や介護職員との連携強化により、よりきめ細やかなアセスメントを行いました。

また、施設サービス計画を、よりわかりやすい言葉で具体的に示し、ケアの方向性を本人、家族、職員に伝え、本人らしい生活を送っていただけるように努めました。

身辺介護

食事 介護職員の意見をもとに食事介助マニュアルを作成することで、環境面から技術面と幅広くマニュアルを活用し、入所者の援助に活かすことができました。

また、多種多様の自助具を準備、配置したことで、より安全な環境と自立した

食事を提供することができました。

入浴 入浴介助にあたる職員が、入所者の身体状態を的確に把握し援助できるよう、情報の共有化と連携の強化を目標に取り組み、浴室での大きな事故を未然に防ぐことができました。また、浴槽内の環境整備により、より安全に気持ちよく入浴して頂けました。

排泄 介護と医務の連携強化により、排便コントロールを意識しながら援助に取り組むことができました。また、なるべく不快感のない排泄ができるよう、トイレでの排泄を視野に入れながら、排泄物品や援助方法の見直しを図りました。加えて、排泄アドバイザーの導入・協力により、新しい視点での取り組みや援助の検討が出来るようになりました。(コスト面も視野に入れて取り組みました。)

教養娯楽

施設生活のなかで喜びや楽しみを少しでも感じていただけるよう、外出行事を積極的に立案実施しました。それ以外でも、要望があった方には個別外出として外出を楽しんで頂くことができました。また、普段の生活のなかでは歌体操や体操等のレクリエーションを中心に実施することで、リズムある生活をおくって頂けたかと思えます。フロアごとでの取り組みの成果としては、レクリエーションで使用する物品を多数設置したことにより、入所者に適したレクリエーションが実現可能となるなど、サービス提供の拡大につながりました。

(2) 健康管理

ケアの基本である「生活を整える」ためには、疾患の基礎的理解が必要であることから、介護職員への医療的な知識を積極的に指導伝達するとともに、職種間コミュニケーションの場とし、連携強化につとめました。

看取りケアにおいては、施設で穏やかな最期を迎えることができるよう、すべての職種が連携し支援しました。

中島歯科の協力による定期的な訪問歯科診療と介護職員による日々の口腔ケアにより、良好な口腔環境の維持向上に努めました。

(3) 機能訓練

積極的に外部研修に参加し、習得した知識技術を取り入れ実施するとともに、関係職種への伝達研修も行いました。特に、安定した座位姿勢保持による食欲向上や活動範囲の拡大による心身への影響は大きいため、快適な生活を送っていただくための姿勢保持の見直し、環境の改善に取り組みました。

(4) 栄養管理

夏場の「冷やし素麺」、冬場の「鍋料理」と、今年も少人数でゆったりと落ち着いた雰囲気で食事を楽しんでいただきました。他の方と食事をしながら会話を楽しんだり、普段口数の少ない方からも、若い時の話や家族の話を聞いたりして、新たな一面を拝見することもできました。そして、そのように知りえた情報を、栄養ケアマネジメントや日々の食事に生かすことができました。

ソフト食の導入についても「天ぷら」や「おはぎ」「握り寿司」など、昔からなじみのある、いわゆる「ご馳走」に含まれるようなものを提供しました。なかなか声での意思表示が難しい方でも、日ごろの食事に比べて口を良く開かれたり、飲み込まれる

のが早かったりと、召し上がる様子から「美味しさ」を判断することができました。

(5) その他の取り組み

環境整備

居室環境においては、入所者ごとのニーズに応じて調整ができる空調設備の整備や、その人らしい生活、快適・安全な生活を送っていただけるよう、ケース担当者を中心に環境整備に力を入れて取り組んできました。また、食堂や談話コーナー等の共有スペースに関する、癒しの空間作り（施設特有の臭いの改善など）を目標に挙げる等して計画的に取り組む、入所者からも良い評価を頂くことができました。

安全対策

各専門職が協働し、事故予防策の見直しに対して積極的に取り組み、職員の事故予防に対する意識向上を図ることができました。

2. 居宅サービス事業

居宅サービス全般においては、業務改善や研修の機会を増やすことにより質の高いサービスを提供できるよう取り組みました。

その結果、大きな事故等もなく「在宅支援」という大きな目標を達成し、利用者やその家族に安心して利用して頂けるサービスを提供することができました。

(1) 短期入所生活介護（ショートステイ）

空きベッドの活用により、新規利用者あるいは既存利用者の急な依頼にも対応することができ、実人数において昨年より多くの方に利用してもらうことができました。また、レクリエーションや行事に参加された際の様々な表情や活動風景を写真に撮り、退所時にご家族にお渡しすることで施設での様子を知ってもらい、喜びの声をいただくなどの評価を得ることができました。

(2) 通所介護（高齢者デイサービス）

西区唯一の通所介護365日営業も6年目を迎え、利用者・介護支援専門員を含め地域に認知されてきているとともに、土日祝を含めた利用の実績も前年を上回る結果となりました。

内訳では、要支援者が減少し、要介護者が増加している背景があります。「介護の重度化」が目に見えて顕著であり、単価増による売り上げ増に寄与するとともに、職員は介護技術研修へ積極的に参加し、基礎から応用まで技術を磨くことができています。

毎年8月に実施している満足度調査で利用者からの声が多くあった「機能訓練」について質の向上に取り組みました。集団体操のバリエーションを増やし、実施方法を工夫することにより利用者の訓練に対する満足感・達成感の向上に繋がりました。

次年度は、引き続き満足度調査の実施や利用者・家族とともに積極的なコミュニケーションを図ることで、ニーズの把握と安心して利用できる施設環境づくりを展開していきます。また「介護の重度化」に加え、「認知症高齢者の増加」にも柔軟に対応するために積極的に研修へ参加し、家族を含めた関連機関との連携や自立支援に向けた取り組みを強化することで、地域の利用者の生活の質を維持していただけるよう在宅生活を支援していきます。

(3) 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所含）

西区包括支援センター総合相談窓口業務の委託を受け5年が経過しました。

ここ数年と同様に居宅介護支援事業への業務の比重が大きくなっている事に変わりはありませんが、地域の認知度も少しずつ高くなっており、相談件数も増えてきました。

西区包括支援センターや地域各種関係者との連携および地域活動についても前年度と同様に対象地域における介護予防教室(特定高齢者把握のための講演会)を開催しました。また、大阪市委託事業である家族介護者教室を地域包括支援センターと共催することにより、多くの地域住民の方々との交流の機会を設けることができました。次年度もこのような機会をより多く設け、継続して取り組んでいきます。さらに、昨年度から導入された評価基準を確実に満たすよう努力した結果、委託料の確保及び専門機関としての質の向上が行えました。

居宅介護支援事業としては、介護支援専門員の増員により高齢者人口の少ない西区において、月平均120件の要支援・要介護ケースを確保できた事は大いに評価できる内容でした。引き続き特定事業所加算の算定に見合った事業所の運営、介護支援専門員の質の向上に向けて努力していきます。

(4) 訪問介護（ホームヘルプサービス）

昨年度の実績に比べ年間延べ利用者数は約450名増加し、多くの利用者に利用していただくことが出来ました。

今年度も職員がやりがいと楽しみを持って仕事ができるよう研修会や勉強会に取り組んだ結果、利用者のニーズに対応できる質の高いサービスが実施できたと共に、職員間のチームワークも非常に高くなりました。

次年度も引き続きより多くの利用者に満足していただけるよう取り組んでいきます。

3. 診療所事業

昨年度に引き続き特養入所者、ケアハウス入所者および職員の健康管理に努めました。また、昨年同様にインフルエンザ予防接種を積極的に行い、特に感染症対策に努めました。

4. ケアハウス コスモスガーデン

近年のケアハウスは日常生活に何らかの支援が必要な方が増加し、食事や入浴についても、援助の必要な方が生活しています。援助が必要になっても、住み慣れた環境で暮らし続けたいという思いを実現し、自分らしい生活が継続できるよう、平成22年度は個別ニーズに対応した、よりきめ細かいサービスの提供に努めました。

【サービス関係】

行事で充実した生活を

余暇活動の充実や身体機能維持、介護予防等個々の状況を解決するため、個々の身体状況に合わせた種々の行事を実施し、生活が維持できるよう、支援しました。

快適な入浴の提供

身体機能の低下等により、単独入浴が困難な方にも快適に入浴して頂くために、午前の付き添い入浴時間枠を増設し、個別ニーズにも柔軟に対応しました。

また、一昨年より始めた「風呂の日」の香り風呂については、入所者の意見を参考に人気のある香りを実施しました。

満たされた食事のために

嚥下や咀嚼に不安のある方にも安全においしく食事をしていただくため、個々に応じた提供方法を考慮すると共に、新メニューの導入や食事時をゆったり過ごしていただけるように、落ち着いた雰囲気作りにも取り組みました。

生活アンケートの継続実施

生活アンケートを積極的に活用し、入所者からの意見、要望に対応できるよう努めました。

安心して暮らせる環境の充実

きつこう会、亀望会各事業所をはじめ、関係機関との連携により安心して暮らしていただけるよう健康支援に取り組みました。

【運営関係】

計画的な資金積み立ての継続

創立11周年を迎え、今後とも機械設備のメンテナンスや安全で快適な居住環境を維持するため、計画的な資金積み立てを継続しました。

特定施設指定の検討と調査の実施

要支援、要介護入所者の増加に伴う生活支援のあり方について、運営課題を整理すると共に、先進施設に訪問調査を行い、ケアハウスとしての方向性を明確にすべく検討を行いました。

〔資料編〕

1. 特別養護老人ホーム事業

入所者利用状況（H22.4.1～H23.3.31）

ア. 平均年齢 全体 男女別（H23.3.31現在）

男性	17名・83.1歳	女性	86名・87.6歳	平均年齢	103名・86.9歳
----	-----------	----	-----------	------	------------

イ. 日常生活動作調査（対象者103名）（H23.3.31現在）

区分	移動			食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
実数(名)	15	32	56	30	43	30	3	21	79	0	7	96	3	23	77

区分	整容			意思疎通			寝返り			車いす使用			認知症 老人数
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	
実数(名)	7	26	70	13	35	55	26	24	53	6	24	56	100

ウ. 年間延べ利用者数合計等

年間延べ利用者数合計(人)		36,851
介護 度 別	要介護度1(人)	702
	要介護度2(人)	2,026
	要介護度3(人)	7,536
	要介護度4(人)	11,374
	要介護度5(人)	15,213
年間延べ入院外泊者数(人)		652
年間延べ空床数		457
年間での退所等利用を中止した人の数(人)		24

主な行事および活動

ア．行事

日付	行事名	備考
平成22年 4月5日・6日	お花見	土佐稲荷神社にお参りをしたあと、公園内の桜を見て気分転換をしていただきました。(6名)
5月10日・12日 14日	うつぼ公園 バラ園	うつぼ公園を散歩しながらバラを鑑賞し、ゆっくりとした時間を過ごしていただきました。(10名)
6月7日	歴史博物館	大阪城見学が雨のため中止となったため、近くにある歴史博物館に変更しました。館内の人形や展示物を見て楽しめました。(4名)
6月11日	大阪城	大阪城見学で歴史を感じてもらい、天守閣からの景色も喜ばれました。昼食は近くのレストランで好きなメニューを選び楽しめました。(3名)
6月18日	鉄板まつり	たこ焼き・焼きそばなどを目の前で焼くのを見ながら、楽しい雰囲気の中で召し上がっていただきました。
7月16日・23日 27日	たちばな(寿司)	いつもと違う雰囲気の中、好きなメニューを選んでいただき、昼食を楽しめました。(7名)
7月15日	子供みこし	地域のお祭りに参加していただくため、施設の前で子供みこしを楽しんでいただきました。
8月20日・21日 24日・25日	地域の盆踊り	地域の夏の行事に参加し、昔からある盆踊りの雰囲気を楽しんでいただきました。(10名)
8月28日	夏祭り	多くのボランティアの協力を得て模擬店や盆踊り等を催し、入所者及び家族、関係者の皆様に楽しんでいただきました。
9月1日・7日	花火	夜に外に出ることがない入所者に、夏の終わりの季節感と花火を楽しんでいただきました。
9月24日・30日	ロイヤルホスト	大阪ドームの近くのレストランで食事を楽しんでいただきました。(5名)
9月16日	敬老祝賀会	民謡ボランティアの八昇会様を招き、太鼓や唄で盛り上がり、手拍子をしたりリズムにのられたりして楽しめました。
10月5日	天王寺動物園 づぼらや	大阪で有名なづぼらやで食事をしたあと、動物園でゆっくりと散歩を楽しめました。(4名)
10月8日 ~22日	西区高齢者施設合同展示会	日頃取り組んでおられる作品を発表する場として、中央図書館での合同展示会に出展しました。また、作品の見学にも行きました。
11月12日 22日・25日	料亭やまぐち	料亭の雰囲気を味わいながら、食事を召し上がっていただきました。(8名)

11月22日 26日・27日	秋の味覚まつり	秋の味覚を感じていただくため、施設内で作った石焼きもを召し上がっていただきました。
12月15日 ～23日	クリスマス会	各フロアで職員が余興やプレゼントを用意し、クリスマスの雰囲気を楽しんでいただきました。
12月28日	もちつき会	もちつきを目の前で見させていただきながら、つきたてのおもちを召し上がっていただきました。
平成23年 1月1日	新年祝賀会	おせち料理と施設長の挨拶。お屠蘇でお祝いしました。
1月7日・14日	初詣	茨住吉神社に初詣に行きました。(8名)
1月18日	国立国際美術館	絵画に興味のある方に参加していただき、ゆっくりと鑑賞していただきました。(3名)
2月3日	節分	職員が鬼に扮し、ボールをぶつけていただくなど、節分の雰囲気を楽しんでいただきました。
2月18日	海遊館	ジンベイザメやその他いろいろな魚を見て楽しみました。(3名)
3月14日	うたのつどい	施設内で楽しく過ごしていただくため、ボランティア様を招き、なじみのある歌と一緒に歌い楽しんでいただきました。

イ．面会・外出・外泊状況集計表(H22.4.1～H23.3.31)

月平均面会回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
54名	10名	13名	5名	6名	8名	8名

外出回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
3名	1名	4名	2名	5名	11名	78名

外泊回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
0名	1名	0名	1名	1名	2名	99名

ウ．自衛消防訓練等実施状況

年月日	内容	備考
平成22年4月27日	自衛消防訓練(4階介護職員室前) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成22年6月23日	自衛消防訓練(4階介護職員室前) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成22年10月26日	自衛消防訓練(4階介護職員室前) 夜間想定	消火・通報・避難・誘導訓練

2. 居宅サービス事業

短期入所生活介護（ショートステイ）

年間延べ利用者数等（H22.4.1～H23.3.31）

開設日数（日）	365	
実利用人数（人）	688	
年間延べ利用者数合計（人）	5,120	
介護度別内訳	要支援1（人）	0
	要支援2（人）	20
	非該当・その他（人）	0
	要介護度1（人）	258
	要介護度2（人）	644
	要介護度3（人）	1,836
	要介護度4（人）	746
要介護度5（人）	1,616	
1日平均利用者数（人）	14.0	
送迎（回）	2,087	
平均介護度	3.53	

通所介護（高齢者デイサービス）

ア．年間延べ利用者数等（H22.4.1～H23.3.31）

開設日数（日）	365	
実利用者数（人）	1,355	
年間延べ利用者数合計（人）	9,651	
介護度別内訳	要支援1（人）	156
	要支援2（人）	1,410
	非該当・その他（人）	0
	要介護度1（人）	1,141
	要介護度2（人）	3,438
	要介護度3（人）	1,542
	要介護度4（人）	1,131
	要介護度5（人）	833
1日平均利用者数（人）	26.4	
送迎（回）	17,082	
入浴（回）	8,255	
給食（食）	9,473	
平均介護度	2.21	

イ．実利用者数月毎推移表（H22.4.1～H23.3.31）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数	110	111	112	115	114	114	114	110	111	114	115	115

ウ．利用者の状況（H23.3.31現在）

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子供(家族) と同居	その他	合計
合計	43	39	33	0	115

エ．主な行事

- ・お花見（土佐稲荷神社）：3月29日（月）～4月11日（日）
- ・お好み外出（鞆公園）：5月12日（月）～5月16日（金）
- ・外出ランチ（魚河岸たちばな）：5月24日（月）～5月30日（日）
- ・外出ランチ（魚河岸たちばな）：6月7日（月）～6月13日（日）
- ・七夕週間：7月5日（月）～7月11日（日）
- ・外出ランチ（魚河岸たちばな）：7月12日（月）～7月18日（日）
- ・お好み外出（津波・高潮ステーション）：7月19日（月）～7月31日（土）
- ・お好み外出（ジャスコ）：7月27日（火）
- ・夏祭り週間：8月16日（月）～8月22日（日）
- ・外出ランチ（魚河岸たちばな）：9月6日（月）～9月12日（日）
- ・敬老週間：9月20日（月）～9月26日（日）
- ・お好み外出（市立科学館）：9月28日（火）～10月8日（金）
- ・外出ランチ（ジャスコ）：10月5日（火）～10月9日（土）
- ・運動会：10月11日（月）～10月17日（日）
- ・お好み外出（鞆公園）：10月26日（火）27日（水）
- ・お好み外出（喫茶店）：11月17日（水）～11月28日（日）
- ・年忘れ演芸会：12月20日（月）～12月26日（日）
- ・初詣（茨住吉神社）：1月2日（日）～1月12日（木）
- ・節分：1月31日（月）～2月6日（日）
- ・外出ランチ（魚河岸たちばな）：2月8日（火）～2月13日（日）
- ・外出ランチ（魚河岸たちばな）：3月13日（日）、27日（日）
- ・梅見（西九条公園）：2月26日（土）、27日（日）

オ．誕生日会

- ・毎月開催（利用者の方の似顔絵とメッセージカードをプレゼントする。）

カ．クラブ活動

- ・毎月第3週に計算・算盤、書き方(書道・ペン習字)、運動、娯楽の各クラブ活動を実施

在宅介護支援センター(居宅介護支援事業含)

(1)在宅介護支援センター事業

ア．相談事業実施状況(H22.4.1～H23.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
相談延件数	9	8	18	10	15	20	13	12	14	9	6	20	154	12.8

イ．相談内容(H22.4.1～H22.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題							1		1				2	0.2
経済・生活問題	2		2		5	1	2		1	3			16	1.3
介護サービス	1	6	16	9	8	11	6	6	10	3	4	15	95	7.9
介護予防サービス	5			1	2	8	3	5	1	2	1	4	32	2.6
介護予防事業														
福祉サービス		2					1	1	1	1	1	1	8	0.6
保健医療サービス														
虐待														
成年後見制度	1												1	0.1
生きがいづくり														
その他														
合計	9	8	18	10	15	20	13	12	14	9	6	20	154	12.8

(2)居宅介護支援事業

ア．年間延べ利用者数 等 (H22.4.1～H23.3.31)

年間延べ利用者数合計(人)		1,443
介護 度別 内訳	要支援1(人)	54
	要支援2(人)	205
	非該当・その他(人)	0
	要介護度1(人)	186
	要介護度2(人)	497
	要介護度3(人)	238
	要介護度4(人)	148
	要介護度5(人)	115

訪問介護(ホームヘルプサービス)

ア．年間延べ利用者数 等 (H22.4.1～H23.3.31)

開設日数(日)		259
実利用人数(人)		490
生活援助(時間)		3,584
身体介護(時間)		2,059
派遣時間合計(時間)		5,643
年間延べ利用者数合計(人)		4,318
介護 度別 内訳	要支援1(人)	272
	要支援2(人)	1,395
	非該当・その他(人)	0
	要介護度1(人)	365
	要介護度2(人)	1,714
	要介護度3(人)	342
	要介護度4(人)	166
	要介護度5(人)	64

イ．平均年齢 全体 男女別 (H23.3.31現在)

男性	7名・79.5歳	女性	33名・82.7歳	平均年齢	40名・84.3歳
----	----------	----	-----------	------	-----------

ウ．利用者の状況（H23.3.31現在）

	一人暮らし 世帯	夫婦のみ 世帯	子供家族 と同居	未婚の子供 と同居	その他	合計
合計	33	5	1	1	0	40

3．診療所事業

ア．診療報酬請求件数（H22.4.1～H23.3.31）

	入所者	職員	合計
年間合計	1249名	63名	1312名
月平均	104.1	5.3	109.3

イ．健康診断実施状況（H22.4.1～H23.3.31）

	入所者	職員	ケアハウス	合計
年間合計	221名	125名	30名	376名
月平均	18.4	10.4	2.5	31.3

ウ．インフルエンザ予防接種実施状況（H22.4.1～H23.3.31）

入所者	職員	ケアハウス	職員家族	合計
98名	122名	0名	29名	249名

4．ケアハウス コスモスガーデン

ア．入所者の状況（H23.3.31現在）

平均年齢

全体 84.2歳	男性（9名） 82.6歳	女性（31名） 84.7歳
----------	--------------	---------------

イ．日常生活動作調査（対象者40名）

区分	移動		食事			排泄			入浴		
	自立 歩行	補助 具使用	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	普 通	や や 不 自 由	不 自 由	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助
実数（名）	32	8	40	0	0	39	1	0	32	8	0

* 補助具使用者とは、歩行時に歩行器・杖を使用している者

ウ．面会・来客・外泊状況集計表（H22.4.1～H23.3.31）

年間面会・来客回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
12名	8名	6名	4名	10名

外泊回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
1名	2名	6名	13名	18名

エ．主な行事

- ・ 4月 お花見 創立記念行事 行楽弁当
- ・ 5月 端午の節句&菖蒲湯 ステーキランチ

- ・ 6月 お茶会 バイキングパーティ スポーツ大会
- ・ 7月 七夕&祭事食 ステーキランチ
- ・ 8月 納涼祭
- ・ 9月 長寿お祝い会 自衛消防訓練 結核健診 鶴橋風月
- ・ 10月 健康診断 お月見 行楽弁当 おでんバイキング スポーツ大会
- ・ 11月 作品展 寿司ランチ 外出ランチ インフルエンザ予防接種
- ・ 12月 人権研修 クリスマスパティ 餅つき
- ・ 1月 新年御礼会 七草粥 小正月 鏡開き&百人一首大会
- ・ 2月 節分 寿司ランチ お茶会
- ・ 3月 ひな祭り&祭事食 自衛消防訓練 ステーキランチ スポーツ大会

オ. その他

- ・ 誕生日会 和みカフェ（年二回お茶会） 移動図書館
- 健康相談会：月1回 映画会 健康体操：月2回（椅子・床）
- ・ 行事食（セレクトメニュー、バイキング料理含む）
- ・ 焼きたてパン 鍋料理（冬期）：月2回
- ・ 活動クラブ 書道、手芸、カラオケ、麻雀

5. その他

(1) 研修状況

・ 施設内研修（基礎研修）

日付	研修名	研修内容	参加者
平成22年 4月20日	倫理及び法令遵守について	福祉施設職員として、職業倫理や法令遵守の重要性について	施設長以下計60名
5月18日	救急救命法について	救命処置について、医師より具体的な方法を学ぶ	施設長以下計62名
6月15日	食中毒予防、まん延について	食中毒の原因となる細菌と予防について	施設長以下計50名
7月20日	福祉職員としての対人援助について	対人援助の基本、方法を学ぶ	施設長以下計55名
9月21日	伝達研修について	他施設の取組について	施設長以下計44名
10月19日	感染症について	施設内感染症制御等について	施設長以下計52名
11月16日	マナーについて	接遇マナーの基本について	施設長以下計54名
12月 5日 ～ 14日	人権研修	ビデオ鑑賞『夢のつづき』	施設長以下計85名
平成23年 1月18日	非常災害時の対応について	阪神大震災の経験を通しての非常災害時対応を学ぶ	施設長以下計56名
2月15日	認知症について	認知症の症状、対応について	施設長以下計51名
3月15日	事故防止について	事故防止事例検討会を行う	施設長以下計53名

・施設内研修（専門職研修）

介護看護研修

日付	研修名	研修内容	参加者
平成22年 4月20日	ターミナルケア について	高齢者の看取りケアに ついて	介護・看護職員 計52名
6月15日	身体拘束排除、事 故防止について	身体拘束の取り組み方 法等、事故の原因や要因 について	介護・看護職員 計52名
8月 3日	事故防止について	転倒予防、歩行時の観察 について	介護・看護職員 計38名
9月21日	リハビリについて	介護における原点回帰 について	施設長以下 計51名
平成23年 12月 7日	介護技術につい て	介護技術の基本につい て	施設長以下 計39名
2月15日	口腔内吸引につい て	口腔内吸引の手技につ いて	施設長以下 計50名

・施設内研修（階層別研修）

新任職員研修

主に4月入職の職員について3月30日に実施。入職前に業務内容について学ぶ。
計14名受講。

中堅職員研修

階層別に中堅職員研修を行った。

1) 中堅職員研修（入職2年目の常勤職員）

1クール1日 計4名が受講。

2) 中堅職員研修（入職3年以上の常勤職員）

1クール3日間（うち、他部署1日研修1日含む）計8名が受講。

3) 中堅職員研修（入職5年以上の常勤職員）

2クール各1日 計10名が受講。

相談員研修

相談業務従事者13名に対し、年6回実施。延参加者人数計72名受講。

特別研修

特別研修として、多根病院PEGチームによりPEG（胃ろう）研修を実施。
計41名受講。

・施設外研修

施設外研修として、各種上部団体主催の研修会にできるかぎり参加。その結果、大阪府社会福祉協議会、大阪市健康福祉局など計134回の研修に参加した。

(2) ボランティア・実習生受入、体験学習状況

・ボランティア受入状況

特別養護老人ホーム

摘 要	人 数
ホーム喫茶（毎水曜日）	2名
おもちゃ作り	7名
夏祭り（模擬店・盆踊り・介助）	45名
敬老会（和太鼓・唄）	7名
傾聴	1名
うたのつどい	2名
ボランティア体験（市社協）	3名

通所介護

摘 要	人 数
花見（土佐稲荷神社13日間）	のべ19名
お好み外出（鞆公園5日間）	のべ9名
お好み外出（ジャスコショッピング1日間）	のべ1名
夏祭り（盆踊り7日間）	のべ21名
施設夏祭り（付き添い）	7名
お好み外出（市立科学館6日間）	のべ9名
お好み外出（鞆公園2日間）	のべ5名
初詣（茨住吉神社9日間）	のべ12名
演歌・舞踊（6回）	2名
ひとり語り（2回）	1名
うた楽バンド（歌謡・童謡）（7回）	2名
うた体操（24回）	5名
大阪市の歴史語り（11回）	3名
民謡（三味線・尺八）（6回）	1名
民謡（三味線・太鼓）（5回）	5名
民謡（三味線）（2回）	10名
落語（3回）	3名
ヨガ体操	3名
腹話術（3回）	1名
どじょうすくい	2名
歌謡曲（6回）	1名
ハンドマッサージ（2回）	17名
ボランティア体験（市社協）	4名

・実習生受入状況

学校等の名称	実人数	のべ人数	内容(資格等)
関西学院大学	2名	46名	社会福祉士
関西福祉科学大学	1名	23名	社会福祉士
大阪人間科学大学	1名	23名	社会福祉士
関西社会福祉専門学校	12名	180名	介護福祉士
(社団)大阪市母と子の共励会	2名	6名	ホームヘルパー2級
大阪市高齢者生きがい就労センター	4名	8名	ホームヘルパー2級
6機関	22名	286名	-

・体験学習

平成23年 2月17日～18日 大阪市立西中学校 2年生 5名

(3) 寄付金状況 (平成22年度分：日付順・順不同)

コスモス苑

年月日	団体名・氏名	関係	金額(円)	備考
平成22年 7月9日	尾鼻 竹見様	入所者 家族	40,000	特養の運営費に充当
平成22年 8月9日	原田 和子様	入所者 家族	500,000	備品購入に充当
平成22年 8月28日	木村 和子様	評議員	10,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成22年 8月28日	山下 ツキ子様	評議員	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成22年 8月28日	大阪ﾌﾟﾗｲﾓｲﾝｽﾞｸﾗﾌﾞ様 竹田 房子様	地域	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成22年 8月28日	広教連合振興町会様	地域	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成22年 8月28日	江戸堀連合振興町会様	地域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成22年 8月28日	ILﾊﾞｰﾈｯﾄ16振興町会様	地域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成22年 8月28日	広教地域ﾈｯﾄﾜｰｸ推進員 中島様	地域	3,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成22年 8月28日	江戸堀地域ﾈｯﾄﾜｰｸ推進員 坂本様	地域	3,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成22年 8月30日	山本 壽一様	監事	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成22年 9月3日	緒方 正弘様	理事	30,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成22年 10月7日	小倉 成夫様	元理事	1,000,000	備品購入に充当
平成22年12月20日	大阪市民生委員 児童委員連盟西区支部様	法人	30,000	特養の運営費に充当
平成22年12月20日	(株)ライフプラン様	法人	200,000	特養の運営費に充当
平成23年 1月20日	住友生命保険相互会社様	法人	50,000	特養の運営費に充当

コスモスガーデン

年月日	団体名・氏名	関係	金額(円)	備考
平成22年4月19日	韮楠クラブ様	地域	5,000	創立記念祭 ケアハウス運営費に充当
平成22年7月20日	深井 善雄様	入所者	80,000	ケアハウス運営費に充当
平成22年9月28日	韮楠クラブ様	地域	5,000	敬老祝賀会 ケアハウス運営費に充当

(4) 寄付物品(平成22年度分：日付順・順不同)

コスモスガーデン

年月日	団体名・氏名	関係	物品名・個数	備考
平成22年6月13日	尼崎市民 オーケストラ様	法人	入場券15枚	入所者に配布